

### (3) 就職委員会

#### ① 設置の趣旨（目的）及び組織

##### ア 組織設置の趣旨（目的）

就職委員会は、学生の就職対策に関する事項について調査検討することを目的として、教授会に設置された専門委員会である。

##### イ 組織の構成及び構成員等

就職委員会は、各専攻・コース等から選出された教授又は准教授（講師及び助教を含む。以下同じ。）、学校教育実践研究センターから選出された教授又は准教授及び特命課長（就職支援担当）の計 20 人により構成されている。

#### ② 運営・活動の状況

##### ア 委員会等の開催状況

令和元年度においては、委員会を 4 回（5 月，7 月，11 月，3 月）開催した。

##### イ 審議された主な事項

主な審議事項は、①令和元年度学部 3 年次研修（仮称），②本学評価基準による自己点検・評価，③本学専門職学位課程評価基準による自己点検・評価，④第 3 期中期目標期間の業務実績に係る自己点検・評価，⑤令和 2 年度就職指導計画，⑥令和 2 年度就職支援行事等であった。

##### ウ 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

従来、学生委員会が担当していた「学部 3 年次合宿研修」について今年度から就職委員会が担当することとしたため、内容を見直すためのワーキンググループを設置し、より教職に対する理解を深めることに特化した研修内容とした。学生のアンケートでは、「教育委員会や先輩の話が聞けて良かった。宿泊研修でなくて良かった。」など好意的な回答が多かった。

この「学部 3 年次合宿研修」を見直したことにより、学生の教員就職への意識を高め、プレイスメントプラザの利用や各種就職支援プログラムへの参加も促進できた。

#### ③ 優れた点及び今後の検討課題等

教員採用試験対策講座等の就職支援プログラム、キャリアコーディネーターによる相談・指導、プレイスメントプラザ及び教員採用試験学習支援システムにおける就職情報の提供など、教員就職を中心とする就職支援の各種取組は大きな成果をあげている。

文部科学省が令和元年 12 月 23 日に発表した「国立の教員養成大学・学部（教員養成課程）の平成 31 年 3 月卒業者の就職状況」において、本学学部卒業者の教員就職率（大学院等への進学者及び保育士への就職者を除く。）は 80.5%で、全国 44 大学・学部中、第 3 位であった。7 年連続で 5 位以内を維持する結果となった。

なお、「学部 3 年次研修」と名称変更したが、大学院学生の参加も促すため、更なる名称と内容の検討を行う必要がある。